

第101回郡山市都市計画審議会 議事録（概要）

1 開催日時

令和元年11月5日（月） 午前10時30分から午後12時

2 開催場所

郡山市総合福祉センター 5階 集会室

3 出席者

(1) 委員 15名（20名中）

(2) 事務局 10名

4 会議の公開・非公開の別及び傍聴者

公開 傍聴者1名

5 議題

(1) 協議事項

旧福島県農業試験場跡地周辺地区の土地利用について

- ・（仮称）メディカルヒルズ郡山基本構想について
- ・郡山市市街化調整区域地区計画運用指針（案）（旧福島県農業試験場跡地周辺地区）の策定について

(2) 報告事項

郡山市市街化調整区域地区計画運用指針の対応状況について

旧福島県農業試験場跡地周辺地区の土地利用に関し、市策定の（仮称）メディカルヒルズ郡山基本構想に基づき、郡山市市街化調整区域地区計画運用指針（案）（旧福島県農業試験場跡地周辺地区）を策定することについて概要及びスケジュール等を説明し、委員から意見等を伺った。また、平成31年3月に策定した郡山市市街化調整区域地区計画運用指針の対応状況を報告した。

6 議事（要旨）

(1) 協議事項

旧福島県農業試験場跡地周辺地区の土地利用について

- ・（仮称）メディカルヒルズ郡山基本構想について
- ・郡山市市街化調整区域地区計画運用指針（案）（旧福島県農業試験場跡地周辺地区）の策定について

【事務局】

旧農業試験場跡地周辺地区は、市街化区域に囲まれた約30ヘクタールの市街化調整区域であるが、郡山駅から約3キロ、平成29年には郡山富田駅の開設など、優れた都市的環境と開発ポテンシャルを有する土地である。本市は、平成28年に開業した福島医療機器開発支援センターを活用し医療関連産業分野を中心とする新たな産業集積の形成を図るべく『（仮称）メディカルヒルズ郡山基本構想』を策定しており、その実現に向け、都市計画法第12条の5に基づく地区計画を活用し、民間活力によるまちづくりの促進を戦略的に進めていきたい。

<委員からの主な意見・質問及び事務局の回答>

【委員】

メディカルヒルズ基本構想は前からあるが、なぜ進捗が遅れているのか。また、年に1回地域の代表者で開催する「郡山富田駅利活用懇談会」における意見や地元の想いも集約し、スピードアップしていただきたい。

【事務局】

構想を郡山市で策定したが、応急仮設住宅で生活している方への配慮等、具体的な利用についての議論は控えていた。また、旧施設の除却等も進み気運も高まってきている状況で、「郡山富田駅利活用懇談会」における意見については、十分承知しており、今後調整していく。

【委員】

医療機器開発支援センターだけでなく、コアとして大学等の誘致が必要と思うが、コアの考え方について伺いたい。

【事務局】

大学、医療機関を含めた懇談会の場を設けており、学術的なことを踏まえるといった意見もあり、今後調整しながら、具体的な機能の考え方に反映していく。

【委員】

郡山富田駅にバス停やタクシー乗り場、また駅周辺の歩道の整備なども検討が必要となる。

【事務局】

新たな交通ネットワークや、交通の安全対策についても事業者が関係部局と十分検討し、メディカルヒルズ構想を進めていきたい。

【委員】

基本事項の「提案制度の活用」「大規模集客施設の立地を目的とするものではない」について確認したい。

【事務局】

地区計画は、都市計画法第12条の5項に記載されており、道路・公園・緑地・建物などをどのように配置し、まちづくりをしたいと提案できる制度。地権者等からの提案を基本と考えており、また、大規模集客施設については、単なる大きなデパートやアミューズメントの立地を目的としたものではない。

(2) 報告事項

郡山市市街化調整区域地区計画運用指針の対応状況について

【事務局】

運用を開始している運用指針の10月末時点の対応状況については、(1)コミュニティ維持型1件、(2)既存ストック有効活用型3件、(3)立地ポテンシャル活用型5件 計9件の相談をいただいている。それぞれ個別に協議を進めており、詳細が決まり県との協議が整い次第、本委員会にお諮りして都市計画決定することになる。

<委員からの主な意見・質問及び事務局の回答>

【委員】

今後も運用が進むことを期待する。